

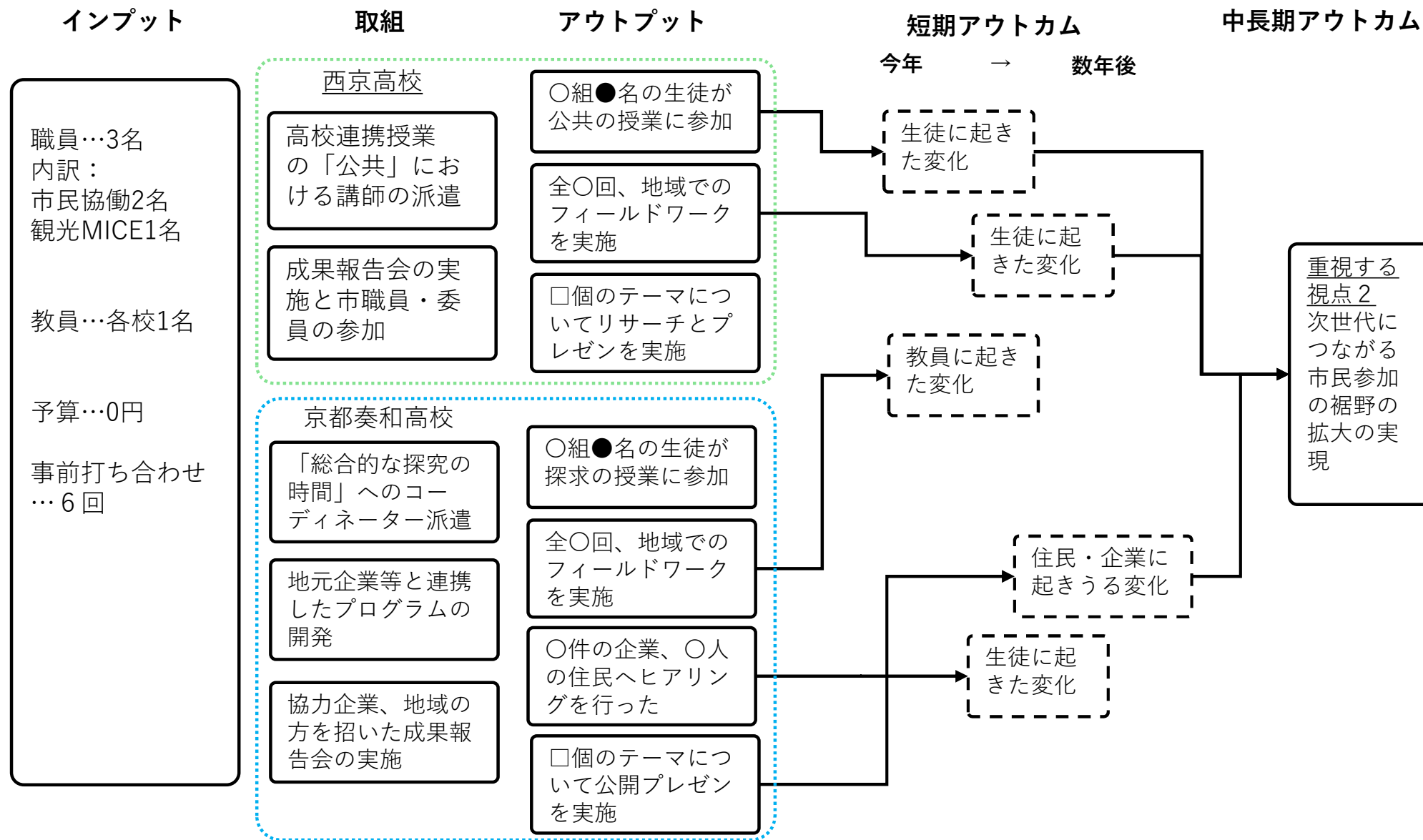
## 施策7 次世代につながる市政参加

多くの市民が社会に興味を持って参加し、市民と行政が良好な協力関係をもって未来を創るために、子どもや学生をはじめ、社会人、子育て世代など、次世代の地域社会を担う若い世代の市政参加を推進します。

### 施策の推進例

(1)社会課題や地域課題への関心を高める学びの場づくり（まちづくりの担い手としての資質や能力を高めるため、社会課題・地域課題関心を高める学びの場をつくりまします。）

資料2



インプット

取組

アウトプット

短期アウトカム

中長期アウトカム

今年 → 数年後

高校生の変化

課題に取り組む大人と接する機会が増える

市民参加のハードルが下がる

選挙の投票率が上がる

高校卒業以降の参加のイメージができる

コミュニティ意識尺度

(自己決定) 地域をよくするために、住民が推進・決定していくことが大事と考える学生が増える

(連帯・積極性) 地域課題に取り組む意欲が増える

(愛着) 地域に愛着をもってくれる

(他者依頼) 地域のことを人任せにする人が減る

重視する視点2  
次世代につながる市民参加の裾野の拡大の実現

高校生以外の変化

保護者の変化

大学生の変化

教員の変化

大人の取り組みの姿勢が変わる

職員…3名  
内訳：  
市民協働2名  
観光MICE1名

教員…各校1名

予算…0円

事前打ち合わせ  
…6回

西京高校

高校連携授業の「公共」における講師の派遣

成果報告会の実施と市職員・委員の参加

○組●名の生徒が公共の授業に参加

全○回、地域でのフィールドワークを実施

□個のテーマについてリサーチとプレゼンを実施

京都奏和高校

「総合的な探究の時間」へのコーディネーター派遣

地元企業等と連携したプログラムの開発

協力企業、地域の方を招いた成果報告会の実施

○組●名の生徒が探究の授業に参加

全○回、地域でのフィールドワークを実施

○件の企業、○人の住民へヒアリングを行った

□個のテーマについて公開プレゼンを実施

大人と一緒に活動に取り組んでくれる